

物流困難地域の課題をモーダルシフト×物流生産性向上で解決

協議会名:高鮮度ベジロジエアー推進協議会

協議会構成員
千曲運輸株式会社、日本航空株式会社、株式会社農業流通支援、
農事組合法人信州森のファーム、長野県南佐久郡南牧村

【事業実施背景】

- ・青果物の主要生産地から離れた地域では、物流生産性および青果物品質の両面から様々な課題が顕在化している。
- ・沖縄県は海に囲まれた離島・遠隔地であり、本土からの青果物輸送は船便が主体で、長野県からの輸送日数は5日以上掛かる。
- ・長距離・長時間輸送と鮮度劣化・廃棄ロスのコストが産地・仕入れ元、消費者を直撃。物流生産性向上による課題解決が望まれる。

事業内容

Point


高鮮度維持を目的として開発したベジロジサービス(高湿度冷蔵倉庫・高機能冷蔵トラック)を活用し、陸送と空輸を連携させた短時間物流ルートを構築する。そして高鮮度に維持された青果物が継続的に小売店に届く効果を物流・荷主・消費者の観点から実証する。



想定事業実施効果

- 【物流効率化と積載効率向上】
- ・1コンテナ/週3回配送 → 2コンテナ/週2回配送
 - 1週当たり 積載率2倍、積載量30%増加
 - 配送回数33%削減

【各プレイヤーの想定される定性的効果】

- <産地>
翌日出荷は労働環境改善し、収穫から出荷までの時間を創出し正確な出荷品目確定 = DX化の土台
- <物流会社>
↓
荷待ち時間の削減とフィジカルインターネット推進
- <卸・小売り>
高鮮度 = 定価販売期間の延長、廃棄ロス軽減で
1発注当たりの発注量増加
→ 発注頻度逡減は配送頻度逡減、積載率逡増となり
物流効率化に寄与

[フィジカルインターネット] トラック等の輸送手段と倉庫のシェアリングによる稼働率向上と燃料消費量抑制によって、持続可能な社会を実現するための革新的な物流システム
[リーファーコンテナ] 冷却・加温装置と断熱材が組み込まれた海上輸送用コンテナ